

自己評価報告書

令和6年度 明石幼稚園 自己評価報告書

学校（園）名：中央区立明石幼稚園 所在地：中央区明石町1-1-5

校（園）長名：佐藤 恵

児童（生徒）数 85 学級数 5 教員数 7 職員数 8

1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標 1

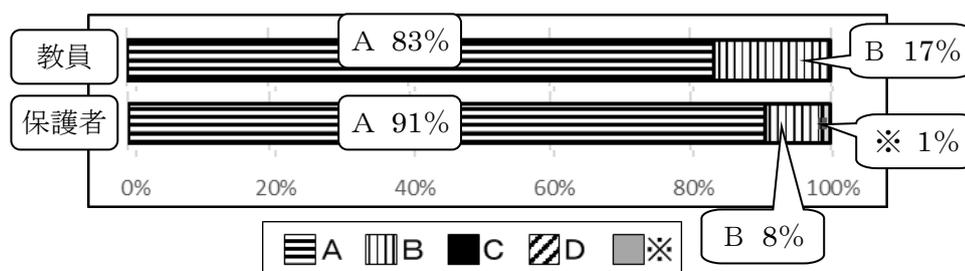
多様な動きを経験できる遊びを取り入れ、体を動かして遊ぶことを楽しむ幼児を育む。

<評価項目>・自ら体を動かそうとする意欲の喚起

- ・どのような運動技能が身に付いているかの読み取りと挑戦する姿勢を促す援助の工夫

<評価指標>・体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。

(走る、跳ぶ、はねる、踊る、鬼ごっこ、ボール遊び、プール活動等)



A よくあてはまる B あてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない ※ わからない

99%の保護者から「A よくあてはまる」「B あてはまる」の回答をいただき、目標はほぼ達成できたと考える。

成果

- ・体を動かす場として戸外だけでなく、遊戯室や広場、体育館も活用し、体を動かす活動を積極的に取り入れていった。いろいろな種類の遊びの面白さを知る機会としての一斉活動、自分たちで繰り返し楽しむための自由に遊べる時間を、意図的に取り入れていった。幼児の経験している内容を捉えながら、タイミング良く取り入れていくことが、意欲的に体を動かしたり、挑戦したりする姿につながった。
- ・幼児の発達に合わせ、様々な動きを引き出す遊具や遊び方を知らせると同時に、教師がモデルとなって動くことで、体を動かす楽しさを感じ、繰り返し遊ぶ姿につながった。

今後の取り組み

- ・発達に合わせた動きや活動を取り入れてきたが、わらべ唄のように学年を越えて、他学年と関わりながら遊ぶ活動も、全教員で共有し、取り入れていけるようにする。

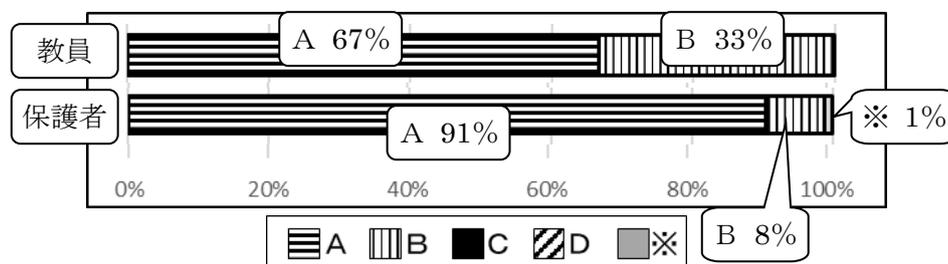
重点目標 2

園内環境を活かしたごっこ遊びの指導の工夫を図り、夢中になって遊ぶ幼児を育む。

<評価項目>・夢中になって遊ぶ姿を引き出すごっこ遊びの指導の工夫

・友達と思いを伝え合ったり、力を合わせたりする態度の育成

<評価指標>・自分のやりたい遊びを夢中になって楽しんでいる。



99%の保護者から「A よくあてはまる」「B あてはまる」の回答をいただき、目標はほぼ達成できたと考える。

成果

- ・幼児のイメージにつながる家庭や園での経験、季節の事象を取り入れると同時に、今年度はOJTとして、互いの保育を見合うことも行ってきた。それにより、幼児の発達に合わせた援助や用具・材料を出す時に、物だけでなく、提示の仕方やその意図についても話し合い、実践することができた。
- ・園内研究における講師の先生からのご指導を通して、遊びの流れをつくる工夫や刺激を受け合う環境設定について学びを深め、実践することができた。

今後の取り組み

- ・今年度、学んだことを元に、幼児のイメージが広がる教材や材料の提示、環境設定を行っていく。そして、教師との信頼関係を基に、幼児同士をつなぎ、友達と共にイメージをもってあそぶことでの、さらなる遊びの充実を促していく。

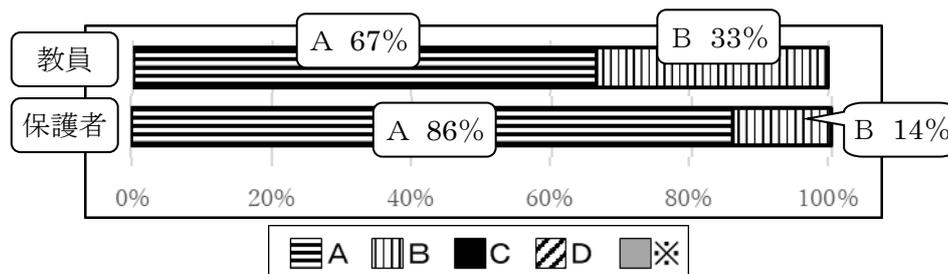
重点目標 3

異年齢児や様々な方との関わりを通して、思いやりの心を育む。

<評価項目>・異年齢児との関わりの方針的な実施と、状況に応じた柔軟な取り組みの充実

・感謝の思いを自分なりに表そうとする意欲の喚起

<評価指標>・異年齢児と関わることに、嬉しさを感じている。



100%の保護者から「A よくあてはまる」「B あてはまる」の回答をいただき、目標はほぼ達成できたと考える。

成 果

- ・今年度は、行事に向けた活動の中でも、他学年との交流が図れるよう工夫してきた。それにより、幼稚園のみんなで行事を楽しむ気持ちにつながることができた。また、行事の後にも、教員間で意見を出し合い、交流の内容や形態を考え、意図的に交流の機会をつくった。それにより、年上の幼児への憧れや親しみをもつことができ、年長・年中児は自分から年下の幼児に関わる姿が見られた。年上の幼児に優しくしてもらった経験から、年少児が未就園児を招いて一緒に遊んだところ、笑顔で自ら玄関まで迎えに行く姿が見られた。
- ・今年度も小学生との交流が活発に行われ、5年生に招いてもらった交流給食や遊びの交流、音楽会のリハーサル、席書会見学等を行うことができた。年長児は近隣の保育園児とも交流をし、互いの園を行き来する中で、共に就学への期待を高めている。

今後の取り組み

- ・次年度も、さらに交流を深められるよう、計画的に打ち合わせや準備をしていくと同時に、2学期後半から3学期には、幼児の育ちに合わせ、年少児が積極的に年中・年長児と関わる機会も増やしていく。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況と今後の改善策

子育て支援

○幼稚園での子どもの様子を、降園時にもう少し聞きたい。

→学級の数に合わせ、降園の仕方を変えることで、一人ひとりの保護者の方と、話す時間を増やせるようにし、その日の姿を伝えられるようにしていく。

安全管理

○登園時に、園門から園内に入る際、保護者用名札を忘れてることが多い。名札を忘れた場合には、入口で代替の名札を着用させる、または名前を記入させる等の対策が必要ではないか。

→今後も引き続き、安全管理を行っていくと同時に、名札を忘れた方には、入口で代替の名札を貸し出して着用してもらい、不審者対策を強化する。

情報発信

○未就園児の保護者が明石幼稚園に入園したくなるよう、園の様子をもっと発信し、明石幼稚園の魅力を伝えていってほしい。

→月に2回、「学級・学年の様子」を写真も入れて、ホームページに載せているが、月末にまとめて載せることが多かった。ルクミーの内容を入力する時に、月に2回、一緒にホームページにも掲載することで、タイムリーに発信ができるようにする。また、「学級・学年の様子」は、アイコンをクリックしないと見られないため、ホームページのトップ画面もこまめに更新し、写真を載せることで、魅力が伝わりやすいように努める。